

## Mercy Health

### 保健医療向け経済支援に関する規約の補遺事項

#### 一般請求額 (AGB) 計算に関する概要

2019年3月1日発効

病院は、財務規則 § 1.501(r) 5(a)(1) に従って、経済支援に関する規約による支援受給資格者に対して提供される治療費用の上限を、救急およびその他医療上必要な治療の場合の一般請求額 (AGB) としなければならない。§ 1.501(r)-5(b)(1) において、病院施設が AGB の決定に使用する方法を以下の2つと規定する。(1) 遡及的計算方法、または (2) メディケイド計算方法。Mercy Health の保健医療向け経済支援に関する規約 (FAP) に記載のとおり、Mercy Health は遡及的方法に基づき、各 Mercy Health 加盟病院の AGB 割合を計算する。

Mercy Health では、各病院施設に対して支払われる実際の請求額に基づき、遡及的方法を選択している。各 Mercy Health 病院は、§ 1.501(r)-5(b)(3)(i) に従って、治療に対するメディケア費用および病院施設に請求額を支払う全民間健康保険業者に基づく AGB 割合を計算する。各病院の AGB は、過去 12 ヶ月においてメディケアおよび商業保険業者が許可した救急およびその他医療上必要な手当の全請求額の合計を、それら請求額の関連総費用の合計で除して年額で計算される。2019年では、各病院施設の AGB 計算に利用した 12 ヶ月間は、2017年11月1日か、2018年10月31日となる。

AGB 計算の確定は、各病院ごとに行った。チャージマスター (米国医療費の料金体系) および管理型医療契約率の変動に関連して、病院の AGB 計算には 17% ~ 44% の幅がある。Mercy Health は、2019年3月1日以降、最大割引を発生させた AGB 割合に基づき、全病院施設に適用される総費用の 17% の AGB 割合を設定した。